

原チャリ&ビッグスクーターおまかせ!

[まるちバイクマガジン]
Moto-Champ

モトチャンプ

ガス代節約!

使い勝手と機動力、カッコ良さで圧倒

スクーター

選んで作って楽しむ

秘訣!

アドレスV125
シグナスX ズーマー
Dio&JOG

4MINI 企画満載

新型エイプ 徹底分析

カスタムコンテスト 第2弾開幕!

ハイカム オールカタログ

フリーウェイなど
3台 限界
カスタム



2008/November

定価 **380yen**

11

とめる場所がない!
P
バイクに駐車スペースを

BLAZE

01 YAMAHA Majesty

趣味は
バイクいじり



好きな芸能人
安室 奈美江

お正月はゆっくり休めましたか？ ゆっくり休むのはいいのですが、食べて寝てを繰り返していたら、いつのまにかブルカスタムになっちゃった。なんて笑えないですよ！ スボンがきつくなっていたらダイエットするべし。



OWNER SPEC

- パンツ: アカデミックス
- シューズ: Timber Land
- ネックレス: クロムハーツ、レナード
- キーケース: LOUIS VUITTON

アツシ@BLAZEさん

26歳/高

マジエのフルカスタムに乗るアツシさんはファッションも完璧でかなりイケてます。お友達のお子さんと写ってくれました。聞くとお友達と待ち合わせをしていて、有名なゴールドストーンアイスを食べに来たそう。私も食べたい!



16 presents
for

ストリートライダーの「足」を探せ！
Newest
Real Street Style Real Street Style Real Street Style

Real Street Style

リアル・ストリート・スタイル

■ Guest: 山本健司
■ 取材協力: クイックシルバー・ジャパン
(http://www.quicksilver.co.jp/
ファンテック ☎03-5378-8803
■ PHOTO: てつかたかし

ジャケット3万6540円
(QUIKSILVER CULTURE)

エンジンスワップの ランナーVX125 ストリートもラクラク、

サーブランドのクイックシルバーでエリ
アライダーを務める山本さん。写真のピアッ
オ・ランナーVX125の他にも、
Z750FXやGS1200SSなどにも
多くのバイクを所有&経験してきたそうです。
そのなかでも、通勤時やショップ間の移動時
に大活躍しているのが、気軽で軽快に乗れる
ランナーというわけです。エンジンはモアパ
ワーを求めてランナーVXR200へ換装。
さらにカスタムエキパイをワンオフしたマフ
ラーを装着するなど、走りの強化はバツチリ。
さらに、特にお気に入りのポイントとなっ
ているフェンダーレス化したテール周りには
はじめ、小型のミラーへの交換やカーボンタイ
プの外装の追加など、ドレスタップカスタム
も大人の雰囲気までとめられています。ショ
ックマウントを加工して装着したマジエスデ
ィ250用リヤショックもポイント！



① 汎用のサイレンサーとワンオフのエキパイを組み合わせたマフラー。ステーの角度もこだわりのポイント。② デイトナ製のリヤショックは専用用品よりもボリューム感もアップ。各部の大幅な加工で実現した、実はかなり凝った部分！

CUSTOM POINT



ナビゲーターが CHECK 今月のオススメアイテム

GIGGLYBOY
チェックシャツ
1万5540円
http://www.gigglyboy.com/



ナビゲーターはGIGGLYBOY
のInoさん。ニットキャップ525
0円、ネルシャツ1万6800円、T
シャツ5775円、HILTONG
ARAGE ☎03-6488-0150



噂のキーワードワンオフでマフラー作っちゃお♪

モトチャンプの誌面でも多く目にする「ワンオフ」という言葉。ワンオフとは、簡単に言えばオーダーメイドのパーツのこと。その中でも今回はワンオフの頻度の高いマフラーをクローズアップ。メリットや種類など情報満載でオトドケするぞ。

ワンオフマフラーでオンリーワンスタイルをGET!



■MACHINE:アドレスV125G ■OWNER:柴田賢太

▲MotoGP風のサイレンサー形状を採用した、カスタムショップ「ファンテック」によるワンオフチタンマフラー。ロンホイにより200mmほどロング化されたボディとのマッチングが絶妙で、生々しい溶接跡も唯一無二の迫力を演出。こんなカッコ良くキマるんだから、ワンオフマフラーって魅力的でしょ?

ワンオフについて勉強♪



ワンオフとは?

ワンオフとは市販品とは異なり、個人オーダーによってオリジナル製作されたパーツのこと。特に、カスタムパーツとして人気のマフラーの場合、マフラーがリリースされていない車種を所有している人や、「目的の車体特性を実現したレース用マフラーが欲しい!」といったパワー面の向上を求める人、また、「カチ上げてイカつくしたい!」なんて具合にカッコ良さを求める人など、カスタムスタイルの多様化によりワンオフへの注目度も高まってきたのだ。

こんな人にオススメ!

- ・市販品で装着できるマフラーがない!!
- ・思い描く通りのマフラーが欲しい!!
- ・とにかく個性を出したい!!
- ・本格的な競技用マフラーが欲しい!!

既製品にはないオンリーワンスタイルをGET! ワンオフマフラー参考例

デザインやディテールにこだわればインパクト抜群のスタイルを獲得できる。ここでは、ワンオフマフラーを取り入れてスタイルアップに成功したカスタムマシンをご紹介します!

デイト製ホイルでメインチタニウム化され、デイト4本脚独立フロントフォークなどを採用。オーナーに仕上げられた1台、センター出しのマフラーはアイファクトリー製のXR1ホールド用で、ブライベートで加工してモンキーへの装着を実現。



■MACHINE:モンキー ■OWNER:Vivid

entry No.2

センター出しでスパルタンに!

2本出し+トグロの合わせ技!



■MACHINE:JOG-ZR エボリューション ■OWNER:ハッシー

entry No.1

Gアクのエンジンユニットをフレームに直付けして約250mmロング化された車体に、レッドモールによるワンオフチャンバーを合わせた迫力の1台。グルリと1周する独特の取り回し、2本出しサイレンサー+メッキ仕上げが強烈な個性をアピール! スチール製で、価格は大体6万円くらいだったとか。

サイレンサーエントに向けて広がる形状を採用したシンプルなマフラーを装着。Mキッズでワンオフ製作された、チタンの質感がマシンに高級感を与えている。グレーのポライカライとの相性がグッド! 製作費は約6万円とのこと。



entry No.4

チタンでさりげなく主張!

■MACHINE:タックス ■OWNER:やまびこ

他車種用サイレンサーを流用!



■MACHINE:ライブDio ZX ■OWNER:★SAKA★南茶手スタイル

entry No.3

換装したズマーのエンジンユニットに、バギー用9Jホイルを装着したライブDio-ZX。マフラーはエキパイをワンオフ製作し、4NINI用マフラーのサイレンサーを装着。ショートタイプとすることで、ロー&ロングの車体ともベストマッチ!

▼4輪用タイヤ+チャンバーのオアシスビューもすごい。メッキスピンナーも絶妙にマッチ。

▲モンキー用などで人気のオアシスビューもマジック製マフラーのサイレンサーを使用。チタン特有の焼け色が鮮やか!



どれもカッコイイね!



▶グラブバーはノーマルを切削加工してワゴンオフ。スモーク加工が施されたテールレンズにはアイラインが加えられ、ファンテックによるフェンダーレスはリヤタイヤを強調するデザインとなっている。エンジンは大幅に左にオフセットされるため、KN企画製リヤショックの上部はカウルをカットしてフレーム側に固定されている。

◀BMF製ショートフロントフォークやベータルの大口径ディスクローターなども目立つ仕様だが、ホイールやフェンダー、キャリアはノーマルとなっており、比較的低予算でこれほどの魅力を実現してしまうという、良いお手本となった。



▼極太タイヤを装着しているため、エキパイを約80mm右に延長し、さらにサイレンサー部分の太さを感じさせなくするため、多室構造のノーマルマフラーをスラム加工して設置。スリムな外見も獲得した「静かで速い」仕様なのだ。

▼グリップやバーエンド、レバーなどはブラック調でシブくまとめ、超小型のバックミラーでシブなスタイルとなっている。ミラーはタカツ製作所製のワゴンオフのステーで固定している。

▲バギー用という9J幅のリヤホイール。太足カスタムに精通している同店だけに、このあたりの加工などはお手の物。信頼できるカスタムショップなのだ。

▼アイラインが装備されたヘッドライトやスモーク加工が施されたウインカー、それにキム手は20mmほどカットされたハンドルポスト部分となる。



極太タイヤのワゴンオフ装着や、個性溢れるカスタマイズの数々で注目を浴びるファンテック。そんな注目SHOPの新作グラランドアクシスは、またもや驚きの9Jホイールに20.5/30 12サイズというリヤタイヤを装着している。ただし、このようなファットタイヤの装着には、ホイールなどのワゴンオフ加工だけでなく、タイヤのセンターを出すために、エンジン搭載位置を大幅に左にオフセットする必要などもあり、200mmロングも同時に獲得しているワゴンオフのエンジンハンガーなどもファンテックのスキルとセンスの高さを如実に物語っている。

さらにこのグラランドアクシスは市街地使用のコンセプトで製作されており、ノーマルマフラーをベースにした「静かで速い」仕様となっている点も注目だ。リヤタイヤが太いぶん、エキパイ部分は約80mm右に延長されており、さらにサイレンサー部分が車幅を太らせないよう、スライズ加工が施されている。「存じのようにノーマルのサイレンサーは内部が多室構造となっていて、切つてフタをすすむというような単純な加工ではないため「非常に苦労した」というポイントでもある。

前後ローダウンにロンホイ化、アイラインの追加やアイデアの勝利と言えるグラブバーの切削加工、ハンドルポストの20mmカットやオイルベンなど、超極太タイヤの外見に似合う細部のカスタマイズも見事にこのマシンを盛りたてている。

月刊
 Scooter
monthly **Champ**



低く、長く、静かで、太い
 グラランドアクシス
ロー&ロングだけじゃない凄み？
リヤには9Jバギー用をドツキンダ？

■PHOTO: 編集部
■OWNER: CSケニ
■FUN TECH ☎03-5378-8803



リアホイールの片持ち装着をはじめ、これをインストールするための各加工など、シンプルながらも見所が実に多いポイント。

ハンドルまわりも極限ともいえるほどシンプルな造り込み。審査員投票数が多かったのもうなずける流石さだ。



マニア車に4輪ホイールをインストール

ホンダフリーウェイ (250cc) をベースにしたカーホイールスワップマシン。RAGEでのエントリーはおるか、カスタムサンプルもほぼ無い車両ながら、独自のハードカスタム路線を展開! 全てブラックでパーツを統一するなど、あまりの流石さに逆に目立っていたことは言うまでもない。



BEST OF CAR WHEEL 52

Owner_北川 誠二
HONDA FREEWAY

SPECIFICATION

●吸排気…ワンオフマフラー、パワーフィルター ●ハンドル…フラット風ハンドルバー、ワンオフハンドルポスト、スイッチボックス左手集中加工、ハンドメイドミラー、DAYTONAメーター ●足まわり…KN企画リアサス、リアバギー用ホイール (8J.205/30-10)、ロードダウン量フロント12cm、リア20cm ●ブレーキ…シルバーウイング純正マスターシリンダー流用、DAYTONAショートレバー、ブラックメッシュブレーキホース ●電装系…フロントウインカー移設 ●その他…シート張り替え、ステップマット、フレーム加工、バッテリー移設、マットブラック塗装、ワンオフ多数

不利さを感じさせないローライダー

リアホイールは、まったく見えないが、しっかりとワイヤーホイールを装着。ペイント、ヤシート、そしてツイストされたハンドルバーなど、フュージョンらしさを全面に活かしたローライダースタイルが見ものだ。このスタイルはもちろんフュージョン固有のものはず!!

フレームまで真っ白に塗られているのが印象的。CJ43スカベンジャーをスワップしてのリンク化はやっぱりふふくとリゲが担当した。



テールはカーボンプレートにLEDを直接埋め込んだ仕様。スーパーリアなレンズを利用したことで、アビリティはかなりのもの!



BEST OF CAR WHEEL 53

Owner_高見澤 翼
YAMAHA Majesty

完成形が見てみたい1台

RAGEにはギリギリでペイントが間に合わなかったというマジエ。43cmロングのリンク式で、ハードコアスタイルの定番を貫く一方、ライバルに差をつけるのがブレーキまわり。前後にベルリンガーの6POTを搭載する大技で、レベルの高いカスタムスタイルを披露していた。来年の完成形に今から期待しちゃいます。



フロントホイールにワイヤーホイールをインストール。ローライダースタイルに必須のアイテムは外さないのだ!

BEST OF CAR WHEEL 56

Owner_篠宮 敦司
HONDA FUSION

BEST OF CAR WHEEL 54

Owner_櫻井 啓之
HONDA FORZA (MF09)

まだまだ未完成の1台

カスタムはまだ終わっていないが、完成形が気になるマジエ。萌えキャラがシート上にあるあたり、ハードコアな萌えスクになることを期待しているのだろうか? まだサフェも入っていないボディの最終形態を期待せずにはいられない!!

BEST OF CAR WHEEL 55

Owner_国枝 祐介
YAMAHA Majesty





ファンテック

FUNTECH

YAMAHA MAJESTY (4HC)

ハードコアカスタムの大本命!! ノンエアロスタイルに大注目!

知る人ぞ知るカスタムショップであるファンテックが製作したのが、この4HC。エアロを一切装着しない潔さながら、車高やロンホイ量で完璧ともいえるバランス感覚を發揮した1台である。リアには、四輪バギー用のホイールをスワップ。しかもマジェエンジンのまま、片持ちサスにするという、一筋縄では到達できない造り込みは絶対にチェックすべき! 極限までのシンプルさながらも、ここまでの見所の多さは、コンテストエントリーでも大きな注目を集めているのではないだろうか? そんなスペシャルな技術力とセンスが光るマジェなのだ!



SPECIFICATION ●吸排気…ワンオフチタントグロ巻きマフラー(原田消音器チタンサイレンサー)、ワンオフエアクリナーバイピンク ●ハンドル…フラットハンドルバー、社外ハンドルポスト&ライザー、加工極小タイプミラー ●足まわり…フロントスプリングカホ、KN企画リアサス、リアホイールバギー用8.5J、ローダウン量(F:80mm、R:220mm) ●ブレーキ…DAYTONA別体マスターシリンダー、メッシュホース ●その他…シート張り替え、フレーム加工、片側モノサス加工、サイドスタンド移設

POINT



フレームワークも お手の物!

フレームワークの研究に余念がないと感じさせる、シンプルながら考えられたフレームビルド。マグザムのエンジンハンガーを使うなど、乗り味に直接関係する部分まで計算されているのだ。



ハンドルまわりも限りなくシンプル。インナーカウルはペイントをしていない純正だが、むしろハードさが引き立つようなオーラを感じるほど。



チタンの輪切りエキパイで、この上ないレーシーさを醸し出すマフラー。ホイールとのバランスも最高の見ために仕上がる位置にセットされている。



リアサスペンションは片持ちとし、ブリーケース側に配置されている。こうしたアイデアをカタチにする技術力があるという証だ。



リアホイールは片持ちでATVホイールがスワップされている。伸ばし過ぎないロンホイもグッドバランスなコンバウト系として参考にすべ!



from 東京
FUNTECH

WE SCOOTER

通好みとも言える、渋さ全開の車両造りに定評のあるファンテック。ノーマルの良さを活かして、ハードにカスタムしたいと考えているのなら、まず最初に訪れたいショップだ。ショップに集まる車両のセンスの良さも必見!

問/ファンテック
TEL/03-5378-8803

よる最高速決定戦!!
を大発表!!

MAX mini ZONE

10月27日大会イベントレポート!!



PHOTO: 盛長幸夫、赤松孝、南孝幸
玉井充(本誌)
TEXT: 小松信夫、編集部
取材協力: 富士スピードウェイ

今年3回目の開催となった「Max Zone mini」。ミニバイクの最高速はどこまで伸びるのか？それをテーマに、富士スピードウェイの国際レーシングコースを舞台に最高速計測をやってしまおうという贅沢な企画なのだ。一般参加、メーカー&ショップの参加など、各方面から強力なマシンが集まった今大会、果たして最速王に輝いたのは誰だ!?



SA

battleclub式肆龍 No.0026

ⒺJOG-Z (49cc) ⒻJOG-ZR

エンジンはPE24φキャブと、KN企画製6枚リードバルブリアライズ製ユーロチャンバーの組み合わせ。



SA

ヤマボ@RedStars No.0013

Ⓔギア (49cc) Ⓕチャンプ

ギアの外装が特長的な1台。CDI点火方式をバッテリー点火に変更するなどこだわりのマシンメイクとなっている。



SA

M-O 初号機 No.0305

ⒺリモコンJOG-ZR (49cc) ⒻJOG系

PWK28φキャブにWJ製チャンバーを組み合わせたエンジンで、駆動系はマロッシ製を軽量加工している。



4秒903

SA

4位

Ks.ガレージ No.0301

ⒺライブDio-ZX (49cc) Ⓕパッソーラ

ライブDio-ZXのエンジンにストマジ用12インチホイール装着など珍しい組み合わせの1台。キャブレターはKOSO製40φ。



SA

安倍優

ⒺJOG (49cc) ⒻJOG

一本橋 2位 21秒85

曲乗りで名を馳せる安倍軍団。デイトナ製リヤショックやリジウムプラグ、TT91GPなどでパフォーマンスアップ。



SA

片野秀次

ⒺライブDio-ZX (49cc) ⒻライブDio-ZX

一本橋 9位 7秒55

普段は街乗りもするというライブDio-ZX。ノーマルマフラーをブラックアウトしてスバルタン仕上がり。



カムストック ☎03-3858-3080

シグナスXやアドレスV125のオリジナル外装パーツをはじめ、海外製輸入パーツも扱う「カムストック」ブースが店。別体式リヤショックやオリジナルエアロカウルなど「当日限りの大特価」でサービス!



カメレオンファクトリー ☎06-6744-3946

数日前に出来上がったばかりというV125エンジンをオリジナルアルミフレームに搭載した異色マシンを製作した「カメレオンファクトリー」。今後はSS1/32mileにも出場するそうなので今から楽しみだね!



Mファクトリー ☎048-987-0940

12月号(P33)でも紹介したエアサスや低リジョンで効果絶大なレーシングオイルなど数多くの新製品を持ち込んだ「Mファクトリー」ブース。静かで速いと評判のBRADEマフラーの試乗も人気だった。



ダムトラックス ☎03-6230-3481

ヘルメットを中心にアパレルグッズやタイヤメーカーなどを販売していた「ダムトラックス」ブース。当日はスクミ特価でヘルメットを販売。夕方には売り切れ続出の大盛況ぶり!



ワイルドライオン ☎04-2924-0405

大きくカチ上がったランナー-ST200用NEWマフラーを装着したマシンなど、2スト、4スト両方のカスタムランナーを展示した「ワイルドライオン」ブース。外スタファンから熱い視線を浴びていました。



チヨダイナターナショナル ☎03-5748-7257

V125の足元をスタイリッシュに決めるアルミカラーホイールを展示していた「チヨダイナターナショナル」。カラバリも豊富なのでどんなV125にも似合いそう!



オートサブリ ☎048-994-1881

新型スクーターを展示していた「オートサブリ」。深いバンク角で話題のKYMCOレーシング125や個性派フォルムのadivaR125、女の子に人気が出そうなKYMCO Many100を展示。



ファンテック ☎03-5378-8803

太足カスタムされたスクーターで、毎年一本橋チャレンジで優勝争いを繰り広げる「ファンテック」。バギー用9Jホイールの装着による迫力満点なリヤフォルムは、会場でも注目の的。



アイズ ☎03-3316-0852

SS1/32mileレップランカーのオヨ氏はじめ、4名のライダーと5台ものマシンを持ち込んだ「アイズ」ブース。ブースでは、SS1/32mileマシンの展示と同時に中古パーツ販売。

バランス王決定戦 一本橋チャレンジ



遂に30秒超！
前人未到の3連覇を達成！



安倍軍団の安倍、善戦するも2位！



今回のドレスアップ賞の

▲前日に行われた走り屋イベント「ZEROPOINT」の疲れからか、今回は精彩を欠いた安倍が2位。リベンジマッチは持ち越し！

▲@の独断と偏見で開催された？一本橋ドレスアップマシンコンテスト受賞者は、ゆきの@ニコニコ動画・生主。スペース100を駆り15位！



女の子も参加できる気軽さ！



◎杯のチャンピオンが17位!?

▲長さが短くなったにも関わらず、自身の持つ記録(27秒)を3秒も上回るタイムで優勝したFUNTECH。練習とかしないんだって〜。

フロントタイヤが落ちるまでの時間を競う単純明快な一本橋チャレンジ。今年は板の長さを1m短くして5mとし、木製から金属製に素材も変更。短くなったことによってロンホイ車両だとゴールまでの距離が短くなるなど難易度もアップ。

安定したライディングで3位！



ノーマルツクのパツツルで参戦

▲パツツルベースのSS1/32mile仕様でチャレンジした荻野淳、レスポンスの良さすぎるエンジンと格闘して8位。

▶常に13秒以上をキープするバランスを見せつけたウラノワ。まるで手足のようにマシンをコントロール。

5th SCOOTER MEETING in AKIGASE 2009

順位	名前	ベストタイム
優勝	FUNTECH	30秒22
2位	安倍軍団安倍	21秒85
3位	ウラノワ	16秒91
4位	けーた	14秒06
5位	峠岸祥司	13秒25
6位	シモ	9秒69
7位	荻野淳	8秒66
7位	こっちー@バッコネ	8秒66
8位	エイナルもすけ	8秒53
9位	片野秀次	7秒55
10位	ハゼファクトリー	7秒53
11位	長家と樹	7秒31
12位	ハゼファクトリー	7秒16
13位	HYPER-RUNNER	6秒86
14位	白03マサ	6秒59
15位	ゆきの@ニコニコ動画生主	6秒35
16位	きる@CURURU	6秒06
17位	ハゼファクトリー	6秒00
18位	深川雄一	5秒34
19位	チーム嵐と愉快な仲間たち	4秒48
20位	陽子☆	4秒44
21位	チョコロディオ	1秒97

▲30代以上にはたまらない名車、スズキHI-UPで参加した陽子☆。オールペンもばっちり決まっています！

▶◎杯東日本FNKクラスチャンピオンの飯田翔太も参戦。1回だけのチャレンジで記録は伸びずに17位。一本橋って意外と奥が深いんです。

豪華賞品が参加者全員に渡る大プレゼント大会



豪華賞品の数々！



マフラーゲット！



ペイント済みヘルメット！

参加者全員になにかが必ずもらえる大プレゼント大会が今年も開催されたぞ。抽選の途中に豪華賞品が登場するなど目も耳も離せないくらいヒートアップ！ここでは協賛各社と商品の一部をご紹介します！

▲ハゼファクトリーからは、カスタムペイント済みのヘルメットが登場！



藤田商会



丸直



GREATSTAR



イエローコーン



オートサブライ



FUNTECH



タイホーコーザイ



和光ケミカル



RSゼロ



ミキビーデザイン



カスタムジャパン



モトクリエイト



デイトナ



メダカ製作所

協賛内容
 ◎ パーツクリーナー他 / ① 金属磨き剤 / ② オリジナルグッズ / ③ レインウェア他 / ④ オイルケミカル他 / ⑤ タオル / ⑥ KERKERオリジナルグッズ
 ⑦ プーリーボス / ⑧ ガソリン添加剤 / ⑨ NOSボンベ / ⑩ ブレーキ&キャブクリーナー / ⑪ バラエティグッズ / ⑫ チャンバー他 / ⑬ パーツクリーナー

PIT IN AUTO & ORGA

ピットインオート

TEL:03-3268-6559

**フェイスのカスタムコンプが
この仕様でお得な
57万9000円!!**

新車ベースのカスタムコンプリート販売にも力を入れるピットインオート。ついついイジりたくなってしまうカスタムが購入時点で施され、工賃やパーツのことを考えたら純正の状態の新車を買うより、断然お得なのが魅力。ここに紹介するフェイスは、カスタムショップ・オルガと共同開発したパーツがポイントで、プラスαのカッコ良さとしてリーズナブルな販売価格を見事確立！なお、装着しているカスタムパーツについての問い合わせはオルガ(047-303-3911)まで。



HONDA FAZE



SPECIFICATION

●吸排気…ORGAスリップオンマフラー(5万8800円) ●足まわり…フロントローダウンスプリング(4cmダウン)、ORGAローダウンブラケット(4cmダウン) ●その他…ORGAフェンダーレスキット(9975円)、ORGAステップボード(1万5750円)※カラーオーダー対応

1.まずはフェンダーレスという人も多いはず。アルミプレートを使い、スッキリしたリアまわりが獲得できる。2.リアサスは純正のまま、サス下部にオリジナルローダウンブラケットが付く。これにより4cmダウンを実現した。3.マフラーはレーシーなメガホンタイプ。販売価格を下げるため、あえてのスリップオン仕様。これはありがたい!



HONDA MF08 FORZA

FUNTECH

ファンテック

TEL:03-5378-8803

地面にはり付く バネベタ×ロンホイ仕様

東京都杉並区に構えるファンテックのアンチエアロパーツなMF08フォルツァ。ボディやペイントに頼るカスタムシーンに逆行していながらも、反面、足まわりはファンテックのワンオフ30cmロンホイでインパクト大。そしてフロントも含め、街中でも十分走れて見た目の両立を計るなど、バネサス乗り必見のセットアップは見物。また、走りを連想するチタンマフラーも手がけ、下手なドレスアップは一切行わず、あたくも純正然のスタイリングに保ちつつ、にじみ出るこの凄みに脱帽だ。



SPECIFICATION

●エアロ…ショートスクリーン加工、タンデムバックレスト穴スルージグ ●吸排気…FUNTECHワンオフチタンマフラー(トグロ巻き) ●ハンドル…ロータイプハンドルバー、ドッグレックハンドルポスト、スポンジグリップ ●足まわり…フロントスプリングカット、タンク別体リアサスベンション、FUNTECHワンオフロンホイ、前後ホイールメッキ加工(6層メッキ) ●ブレーキ…ウェーブディスクローター、前後キャリパー&キャリパーサポートメッキ加工、タンク別体マスターシリンダー ●電装…KITAGOプロジェクトヘッドライト、08フォルツァ後期テールユニット移設 ●その他…シート張替え、インナーペイント、メッキ加工多数(クランクケースカバー、フロントフォーク、スイングアーム、ジェネレーターカバー)、ステップマット、ショートサイドスタンド加工

1.ハンドルのポストにはアメリカンバイク系のライザーを流用。普通のようにでいて何気に個性的! 2.メッキへのこだわりも相当なもの。ブレーキケースはメッキカバーではなく、純正のクランクケースにメッキ加工した一品。3.コンパクトなマフラーは、チタンサイレンサーを採用したワンオフ。エキパイの輪切りもポイントだ。





リアホイールの片持ち装着をはじめ、これをインストールするための各加工など、シンプルながらも見所が実に多いポイント。

ハンドルまわりも極限ともいえるほどシンプルな造り込み。審査員投票数が多かったのもうなずける洪さだ。



マニア車に4輪ホイールをインストール

ホンダフリーウェイ(250cc)をベースにしたカーホイールスワップマシン。RAGEでのエントリーはおろか、カスタムサンプルもほぼ無い車両ながら、独自のハードカスタム路線を展開! 全てブラックでパーツを統一するなど、あまりの洪さに逆に目立っていたことは言うまでもない。



BEST OF CAR WHEEL S2
Owner_北川誠二
HONDA FREEWAY

SPECIFICATION

●吸排気…ワンオフマフラー、パワーフィルター ●ハンドル…フラット風ハンドルバー、ワンオフハンドルポスト、スイッチボックス左手集中加工、ハンドメイドミラー、DAYTONAメーター ●足まわり…KN企画リアサス、リアバギー用ホイール(8J、205/30-10)、ロードダウン量フロント12cm、リア20cm ●ブレーキ…シルバーウイング純正マスターシリンダー流用、DAYTONAショートレバー、ブラックメッシュブレーキホース ●電装系…フロントウインカー移設 ●その他…シート張り替え、ステップマット、フレーム加工、バッテリー移設、マットブラック塗装、ワンオフ多数

不利さを感じさせないローライダー

リアホイールは、まったく見えないうえ、しっかりとワイヤーホイールを装着。ペイント、ヤシット、そしてツイストされたハンドルバーなど、フュージョンらしさを全面に活かしたローライダースタイルが見ものだ。このスタイルはもちろんフュージョン固有の物のはず!

フレームまで真っ白に塗られているのが印象的。CJ43スカブエンジンをスワップしてのリンク化はやめ、うあくとりが担当した。



テールはカーボンプレートにLEDを直接埋め込んだ仕様。スパークリアなレンズを利用したことで、アビール度はかなりのもの!



BEST OF CAR WHEEL S3
Owner_高見澤寛
YAMAHA Majesty

完成形が見てみたい1台

RAGEにはギリギリでペイントが間に合わなかったというマジエ。43cmロングのリンク式で、ハードコアスタイルの定番を貫く一方、ライバルに差をつけるのがプレーキまわり。前後にベルリンガーの6POTを搭載する大技で、レベルの高いカスタムスタイルを披露していた。来年の完成形に今から期待しちゃいます。



フロントホイールにワイヤーホイールをインストール。ローライダースタイルに必須のアイテムは外さないのだ!

BEST OF CAR WHEEL S6
Owner_藤宮政司
HONDA FUSION

まだまだ未完成の1台

カスタムはまだ終わっていないが、完成形が気になるマジエ。萌えキャラがシート上にあるあたり、ハードコアな萌えスクになることを期待しているのだからか? まだサフェも入っていないボディの最終形態を期待せずにはいられない!!



BEST OF CAR WHEEL S5
Owner_国枝祐介
YAMAHA Majesty

43スカブエンジンをスワップし、14インチのATVホイールに2輪タイヤを装着。ショートタイプのプロドラッグマフラーも主張している!



オーディオ機器をシート下にインストール。美しく魅せるための配置のこだわりで、しっかりと票を勝ち取った!

BEST OF CAR WHEEL S4
Owner_櫻井啓之
HONDA FORZA (MF08)



BEST OF CAR WHEEL 4位

これぞショーカスタムの完成度!!

フロント16インチ、リア17インチの4輪ホイールをセットアップし、リンク式のロンホイでハードコアさをアビール。その一方、美しいペイントやオーディオ・ヴィジュアルにも徹底的に取り組んだ完全なるショーバイク。これで自走エントリーする姿にホレボレしてしまっただ。

SPECIFICATION

●エアロ…ETERNITYフェイス、aprサイドカウル、COMESTOCKアンダーカウル、aprリアアンダーカウル、ETERNITYエタッパネ、エア口類加工 ●吸排気…ETERNITYマフラー ●ハンドル…MSKハンドルバー、DAYTONAハンドルポスト、ATLAS-MICスピアグループ、COMESTOCKステルスミラー ●足まわり…前後ホイールWORKSシャフトSC1 ●ブレーキ系…ベルリンガー-AEROTECフロントキヤリパー、bremboリアキヤリパー、DAYTONAマスターシリンダー、ZOOMプレーキレバー ●駆動系…全てMALOSS! ●電装系…自作ウインカー、ボスコムテールランプ、ダイヤモンドスピーカー、電飾多数 ●インター…シート、TOPMOSTステップマット、マルセンオート4輪ホイールスワップキット、オールパン(フレーク)



ペイント、ロンホイ量、ホイールチョイスなど、非常にショーで映える造り込みのリアまわり。フォルツァエンジンのままでの片持ち化は必見!



3WHEELERS

3輪 (トライク)

自動車免許で乗れ、かつ走行時の安定感や見た目のインパクトがトライクの魅力。スクーターに限らず、ゴージャスなGL1800のトライクも参加してくれましたよ。



へたな四輪のオープンカーより快適!?

仲よし親子のマジエトライク。ロングスクリーン付きだし、ツーリングも絶対快適でしょう。



OTHER BIKE

ミッションバイク

スーパースポーツから、ネイキッド、はたまたアメリカンまで、オールジャンルのバイクが集結。スクーターに乗ってなくても僕らのRAGEはウェルカムなんです。

